

令和5年度 第1回市民協働推進委員会 議事録

- 1 日時 令和5年6月16日(金) 午後6時から午後7時30分
- 2 場所 豊川市役所 本34会議室
- 3 出席者 会長 神谷 典江・・・(特非)穂の国まちづくりネットワーク
代表理事
委員 乙部 法行・・・豊川市連区長会代表
委員 小栗 慎平・・・豊川高校インターアクトクラブ顧問
委員 杉山 亮輔・・・一般公募市民
委員 佐原 圭子・・・豊川商工会議所事務局次長
副会長 鈴木 智彦・・・豊川市市民部長
委員 加藤 悦子・・・豊川市国際交流協会常務理事
委員 小川 友和・・・豊川市社会福祉協議会地域福祉課長補佐
※久曾神 織江委員((特非)ちえるぼとてとりん)は都合のため欠席
- 4 事務局 市民部次長兼市民協働国際課長、課長補佐、係員
- 5 傍聴者 0名
- 6 議事概要

(1) 委員の委嘱及び副会長の選出

杉山委員・・・令和4年度に引き続き委員を委嘱
副会長・・・会長が鈴木委員を指名

(2) 議題

①市民協働推進事業補助金プレゼンテーション審査

【事務局】

今年度の市民協働推進事業補助金については、すでに4団体の事業が採択され、補助金の残りが29万3千円となっている。そこで追加募集をしたところ、古宿連区及び千両連区から企画書の提出があったため、本委員会で審査していただく。

<①古宿連区>

【古宿連区】

町内会の課題として、コロナ前に行っていた盆踊りについて、運営に必要な人員数や作業量と町民の満足度のバランスについての疑問がある。また、盆踊り大会の資材管理状態の不安、そして盆踊りが4年ぶりの開催となる不安がある。その対応策として、新規事業でありながら実行委員の負担が比較的軽い事業の実施、子どもに昔のなつかしい夜店文化経験による町内としての夏の思い出づくりを実施する。また、協働企業様の社会貢献活動として、SDGsの話や廃材を利用した工作教室を通し、子どものSDGs意識の向上に寄与する。

なぜ夏まつりかということ、昔、諏訪地区で夜店が出ていて、私自身とても楽しかった思い出がある。これを今の子どもたちにも体験してほしい。また、夏まつり当日は運営委員の町内会役員、老人会員と子どもたちのふれあいの場になる。

夏まつりでは、水風船釣り、スーパーボールすくい、射的、パーフェクトピッチングの4つのゲームを行う。それに加え、ミタキスペースファクトリー様と乗本豊店様と協働し、それぞれ事業で生じる廃材を使用したワークショップを実施していただく。ワークショップでは、SDGsに関するお話もしていただく。

補助金を使用して購入する予定のテント固定用ウェイトは、今後の避難所運営にも役立つ。また、次年度以降も、役員が苦勞せず継続開催できるよう、運営マニュアルを作成し、新役員でも運営できるように進めている。

【事務局】

審査員の方々、何か意見や質問はあるか。

【委員】

夜店ということだが、何時から何時まで開催するのか。老人会の方はどのような形で参画するのか。

【古宿連区】

午前中に工作教室を実施する。夜店は13時から準備を始め、17時から20時まで実施予定。雨天時は、市民館の集会室で4つのゲームを実施する。詳細はこれから実行員会で決めるが、4つのゲームの運営の手伝いを予定している。

【委員】

構成世帯が約1,000世帯ということだが、町内会の子ども的人数は。

【古宿連区】

令和4年度の小学生の人数は150名と聞いている。小学生のみを対象とすると人数が少ないので、対象を小学生以下にしようという話になっている。

【委員】

小学生以下が対象というのは、小学生未満の子どもも参加できるということか。

【古宿連区】

その通り。保護者に参加可否を判断してもらいたいので、組回覧でワークショップ及び夜店の参加者を募集する。参加申し込み時に、子どもの年齢を回答してもらい、小学生未満でも保護者と参加できるようにする。

【委員】

参加無料にすると、同じ子が何度も参加し、周遊する形になることが多い。参加券のようなものがあるとよい。

【古宿連区】

組回覧で申し込んだ参加者に、チケットを配る予定。各ブースでスタンプを押

し、参加したかどうかわかるようにする。

【副会長】

協働相手の2社は、どのように見つけたのか。

【古宿連区】

市の紹介を受け、実際に企業へ協働の依頼をしに行った。実際に話してみると、協働経験が豊富な企業であることがわかり、素晴らしい企業であると感じた。

【会長】

単発の町内会イベントでは、町内会役員が交代するとノウハウや協働の意識が受け継がれない可能性もある。役員や老人会で運営すると決めつけず、ボランティアスタッフが企画運営の段階から携われるようにし、役員以外の方も参画できるような仕組みをつくっておくと、役を外れた役員経験者がスタッフとして関わるができる。そうすると、次の役員の方の負担軽減になる。来年以降の運営についても今年から工夫しておくといよい。

また、協働事業が終わった後は、ふり返しを行う。そのふり返しでは、是非よかった点を持ち寄り、協働事業をやってよかったと思えるような、前向きなふり返りの場にしてほしい。

<②千両連区>

【千両連区】

豊川の北部にある千両連区は、昭和55年3月5日に創立され、6つの町内会で構成されており、総戸数は654戸となっている。

この事業の目的は3つある。一つは、子どもが主役となり、子どもと住民の世代間交流をすることで、地域コミュニティの活性化につなげること。そして、子どもたちが地元の産業や文化などを知る機会とすること。最終的に、子どもたちが自分の住んでいるふるさとに愛着心を持てるようにすること。

夏まつりは、千両市民館の屋内と屋外芝生広場で実施する。その中のワークショップが協働事業となる。協働相手は三者あり、いずれも千両連区内にある企業、個人である。加山興業様は、廃材を利用したリサイクルキーホルダー作りのワークショップを実施する。様々な色の廃材のコードを切断して、ビーズのようにする。この廃材も提供いただく。

千両町内に3軒あるバラ農家様からはバラを提供してもらい、フラワーアレンジメントのワークショップを実施する。フラワーアレンジメントで使用する紙コップ、スポンジ等の材料費は補助金でまかないたい。

千両町内で陶芸教室を開いている方には、箸置き作りのワークショップをしてもらう。あらかじめ粘土で型をつくっておいてもらい、子どもがそれに色付けをする。粘土、絵の具、筆等の材料費は購入する必要がある。

夏まつりにおいて、子どもたちと地域住民との世代間交流を図り、子どもたちが学校生活の中で関わりが少ない色々な大人と出会うことで、千両の魅力的な企業や産業、文化などについて知ってもらいたい。

【事務局】

審査員の方々、何か意見や質問はあるか。

【副会長】

どのような基準で協働相手を選定したのか。

【千両連区】

千両町内で仕事をしていらっしゃる方を選んだ。子どもに地域に素晴らしい企業があることを知ってほしい。

【委員】

企業や農家、運営メンバーと多くの方が関わる。町内会のメンバーだけで運営するのか。

【千両連区】

町内、連区の役員だけでなく、町内の中の交通指導隊、消防団等にもお手伝いいただく。消防団には放水訓練を見せてもらったり、一部体験させてもらったりして、子どもたちが楽しめるようにする。スタッフは総勢 50 名ほど。それぞれに責任者を配置して、スムーズに運営できるようにする。

【委員】

町内会に加入していない方に対して、町内会の良い印象を PR できる場は設けるのか。

【千両連区】

町内会に入っていない世帯が数軒あるが、ほとんどが加入している。これを機に、結果的に町内会に加入してくれる人が増えるとよい。急に加入していただくことは難しいので、夏まつりを糸口に町内会の盛り上がりを知っていただくことも必要だと考えている。

【委員】

子どもたちに地元企業や農家について知ってもらうことは大切。千両には結束力がある。是非、こういった活動について、千両以外の子どもにも声をかけてほしい。将来の消防団員となるきっかけになるかもしれない。

【会長】

今おっしゃられたように、地元の企業を知ってもらうこと、発見してもらうことはとてもよい。千両は企業が豊富で素晴らしい。加山興業については、子どもは出前講座や工場見学で知っているかもしれないが、子どもだけでなく、保護者、地元の大人たちにも、地元企業について周知するとよい。SDGs で廃材を利用する

とあったが、例えば加山興業は、蜂蜜やクッキーの販売もしている。福祉施設とコラボし、商品開発もしている。市民向けに工場見学を提案、周知しているところだが、なかなか人が来ないという声も聞いたことがある。このような部分の周知でも協力できると、企業としても協働してよかった、千両っていいなと思ってもらえる。バラ園も同じで、豊川市内にバラ園はたくさんあるが、千両にもこんなにすてきなバラ園があるということを周知するきっかけを作ると、農家も協働してよかったと思うことができる。とてもいい事業だと思うので、コミュニティの活性化が図れ、いい思い出ができるように、天候に恵まれて成功することを祈っている。

【千両連区】

加山興業様には、当日、蜂蜜や企業パンフレットも置いてもらうよう話をしているところだった。来年以降も協働できるよう、そのような視点も持って進めていきたい。

審査終了後

【事務局】

審査の結果、千両連区の「第20回千両ふれあい夏まつり」は30点満点中、全体の平均点が24.4点、市として高い基準としている協働性の評価は5点満点中4点となった。また、古宿連区の「古宿連区 夏まつり2023」は、全体の平均点が23.9点、協働性の評価は4点となった。千両連区及び古宿連区の事業は、いずれも採択となる。

②「とよかわ市民協働推進計画」における令和4年度実施施策の評価

【事務局】

とよかわ市民協働推進計画では、「地域と行政がしっかりとささえているまち」の目標を実現するため、4つの基本方針を定め、9つの実施施策、45事業（再掲4事業を含む）を展開しており、計画全体の指標1つと実施施策ごとの指標14の併せて15の目標指標を定めている。評価の方法は、実施施策ごとに目標達成度や効果などを客観的に評価して、9つの実施施策ごとに5段階で評価点をつけて欲しい。

【会長】

町内会電子回覧板「結ネット」応援事業所について、初年度から賛同企業数が29社集まったことを高く評価する。

③その他

【事務局】

「とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書」における評価書については、事務局で皆様の意見を取りまとめ「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書」、「とよかわ市民協働推進計画実施計画施策評価結果」を作成する。議題2の評価票については、7月14日（金）を目処に返信をお願いしたい。本日、委員のみなさまからいただいた意見を反映させた、たたき台を次回の委員会で提示する。次回は7月28日（金）午後6時から、本日と同じく豊川市役所本庁舎3階の本34会議室で開催予定。開催通知は後日送付する。